

3 埼玉県予防接種実施状況調査

(1) 概要

予防接種は感染症の重要な予防対策であり、対象疾患の好発年齢までに終了し、集団としての接種率を高く維持することが望ましい。予防接種の推奨には、その効果と意義に関する十分な説明と共に、予防接種がどの程度実施されているのかという評価指標が不可欠である。

埼玉県では、予防接種実施状況を把握するため、県内市町村の協力を得て平成9年度から調査を行い、その詳細を毎年「埼玉県予防接種調査資料集」にまとめ、提供している。

令和5年度調査では、令和5年度定期予防接種実施計画、定期外予防接種(令和4年度実施結果と令和5年度実施計画)、令和4年度生年別接種者数の三事項について調査し、対象63市町村全てから報告を受けた。

(2) 令和5年度定期予防接種実施計画

各定期予防接種の市町村別接種対象期間を以下にまとめた。各ワクチンの略号は、不活化ポリオワクチン：IPV、百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン(四種混合ワクチン)：DPT-IPV、ジフテリア破傷風混合トキソイド：DT、麻しん風しん混合ワクチン：MR、ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型：Hib、ヒトパピローマウイルス：HPVとした。

ア ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の予防接種

DPT-IPV1 期初回及び IPV1 期初回の接種対象期間は、全市町村で生後2か月～7歳6か月であった。DPT-IPV1 期追加及び IPV1 期追加の接種開始年齢は、生後2か月：62市町村、生後10か月：1市町村であった。接種終了年齢は、全市町村で7歳6か月であった。DT2 期では全市町村が定期接種期間と同じ11歳～13歳であった。

イ 麻しん及び風しんの予防接種(MR、麻しん単抗原、風しん単抗原)

MR 第1期の接種対象期間は、各ワクチンともに全市町村で標準的な接種期間と同じ1歳～2歳であった。MR 第2期の接種対象期間は、各ワクチンともに全市町村で定期接種期間と同じ5歳～7歳であった。麻しん単抗原及び風しん単抗原は該当のない3市町村を除き、MRと同様であった。

ウ 日本脳炎の予防接種

日本脳炎1 期初回の接種開始年齢は、生後6か月：61市町村、3歳：2市町村であった。接種終了年齢は全市町村で7歳6か月であった。1 期追加の開始年齢は生後6か月：60市町村、1歳1か月：1市町村、3歳：2市町村であった。接種終了年齢は全市町村で7歳6か月であった。2 期の対象期間は全市町村で定期接

種期間と同じ9歳～13歳であった。

エ 結核の予防接種(BCG)

BCGの接種開始年齢は、生後0か月：59市町村、生後2か月：1市町村、生後3か月：1市町村、生後5か月：2市町村であった。接種終了年齢は全市町村で1歳であった。

オ Hib感染症の予防接種

初回の接種対象期間は、全市町村が定期接種期間と同じ生後2か月～5歳であった。追加の開始年齢は生後2か月：60市町村、生後11か月：2市町村、1歳：1市町村であった。接種終了年齢は全市町村5歳であった。

カ 小児の肺炎球菌感染症の予防接種

初回の接種対象期間は、全市町村が生後2か月～5歳であった。追加の開始年齢は生後2か月：59市町村、1歳：4市町村であった。終了年齢は全市町村で5歳であった。

キ ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)の予防接種

接種開始年齢は、11歳：62市町村、12歳：1市町村であった。接種終了年齢は全市町村で定期接種期間と同じ17歳であった。

ク 水痘の予防接種

接種対象期間は、全市町村が定期接種期間と同じ1歳～3歳であった。

ケ B型肝炎の予防接種

接種開始年齢は、生後0か月：51市町村、生後2か月：12市町村であった。接種終了年齢は全市町村で1歳であった。

コ ロタウイルス感染症の予防接種

(ア) 1価

接種開始年齢は、生後1か月：54市町村、生後2か月：9市町村であった。接種終了年齢は全市町村で生後6か月であった。

(イ) 5価

接種開始年齢は、生後1か月：53市町村、生後2か月：10市町村であった。接種終了年齢は全市町村で生後8か月であった。

(3) 各予防接種における接種方式

各定期予防接種について、市町村が定める個別・集団・個別集団併用(個集併用)

の3接種方式について集計した。ほとんどの市町村で個別方式がとられているが、BCGの個集併用(1市町村)の報告があった(表Ⅲ-3-1)。

表Ⅲ-3-1 各ワクチンの接種方式(市町村数)

接種方式	DPT-IPV 1期 初回・追加	DT 2期	IPV1期 初回・追加	MR 第1・2期	麻しん・ 風しん 第1・2期	日本脳炎		
						1期初回	1期追加	2期
個別	63	63	63	63	*60	63	63	63
集団	0	0	0	0	0	0	0	0
個集併用	0	0	0	0	0	0	0	0

接種方式	BCG	Hib 初回・追加	小児用 肺炎球菌 初回・追加	HPV (子宮頸がん)	水痘	B型肝炎 初回・追加	ロタ
	個別	62	63	63	63	63	63
集団	0	0	0	0	0	0	0
個集併用	1	0	0	0	0	0	0

*麻しん・風しん第1・2期は、「該当なし」、「単抗原ワクチンは設定していない」、「医師会との契約をしていないため、単抗原接種希望者がいた場合、混合ワクチンの接種を勧める」の計3市町村を除く

(4) 令和4年度定期予防接種実施状況

ア 生年別接種完了率

平成27年度～令和5年度調査までの9年間の接種者数を積み上げ、各生年の予防接種別接種完了率を算出した(表Ⅲ-3-2、図Ⅲ-3-1)。

なお、不活化ポリオ含有ワクチンの接種完了率は、IPVの接種者数が少ないためDPT-IPVの接種数から求められるDPT含有ワクチンの接種完了率と同様の結果となっており、掲載については省略する。

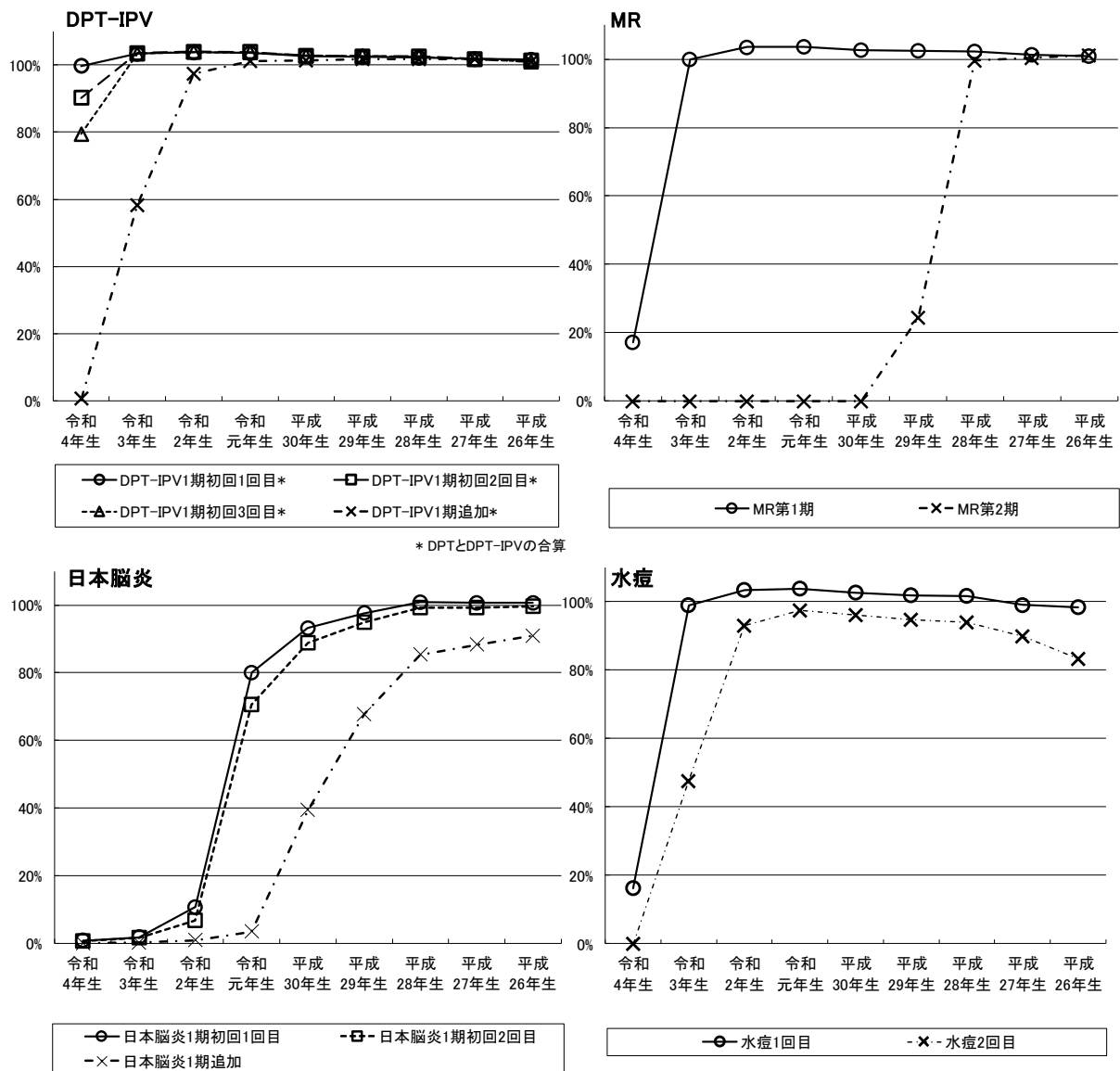
表Ⅲ-3-2 生年別接種完了率

	令和 4年生	令和 3年生	令和 2年生	令和 元年生	平成 30年生	平成 29年生	平成 28年生	平成 27年生	平成 26年生
DPT-IPV1期初回1回目*	99.7%	103.4%	103.8%	103.6%	102.6%	102.3%	102.2%	101.8%	101.6%
DPT-IPV1期初回2回目*	90.3%	103.6%	103.9%	103.9%	102.8%	102.5%	102.6%	101.8%	101.4%
DPT-IPV1期初回3回目*	79.4%	103.4%	103.9%	103.7%	102.8%	102.7%	102.5%	101.7%	101.0%
DPT-IPV1期追加*	0.7%	58.2%	97.4%	101.2%	101.3%	101.7%	101.8%	101.7%	101.0%
MR第1期	17.2%	100.0%	103.6%	103.7%	102.7%	102.5%	102.3%	101.3%	100.9%
MR第2期	-	-	-	-	0.0%	24.3%	99.7%	100.4%	101.2%
日本脳炎1期初回1回目	0.8%	1.8%	10.7%	80.0%	93.2%	97.6%	100.8%	100.7%	100.7%
日本脳炎1期初回2回目	0.7%	1.7%	6.7%	70.5%	88.8%	95.0%	99.1%	99.2%	99.7%
日本脳炎1期追加	-	0.2%	1.0%	3.4%	39.4%	67.7%	85.4%	88.3%	91.0%
水痘1回目	16.3%	98.9%	103.4%	103.8%	102.6%	101.9%	101.6%	99.0%	98.4%
水痘2回目	0.0%	47.5%	92.9%	97.5%	96.2%	94.7%	93.9%	89.9%	83.2%

接種完了率が最も高い生年

(-: 累積接種者0人)

*DPT-IPVの接種完了率のうち、平成26-28年度の接種者数についてはDPTとDPT-IPVを合算し算出



図Ⅲ-3-1 各予防接種別生年別完了率

DPT-IPV の接種完了率が最も高かったのは、1 期初回 1 回目では令和 2 年生 (103.8%)、1 期初回 2 回目では令和 2 年生及び令和元年生 (103.9%)、1 期初回 3 回目では令和 2 年生 (103.9%)、1 期追加では平成 28 年生 (101.8%) であった。

MR ワクチンの接種完了率が最も高かったのは、第 1 期では令和元年生 (103.7%)、2 期では平成 26 年生 (101.2%) であった。

日本脳炎ワクチンの接種完了率が最も高かったのは、1 期初回 1 回目では平成 28 年生 (100.8%)、1 期初回 2 回目では平成 26 年生 (99.7%)、1 期追加では平成 26 年生 (91.0%) であった。

水痘ワクチンの接種完了率が最も高かったのは、1 回目では令和元年生 (103.8%)、2 回目では令和元年生 (97.5%) であった。

イ 標準接種期間の開始年齢における生年別接種完了率の経年変化

DPT 含有ワクチン、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎について標準的な接種期間に該当する生年における接種完了率の経年変化を示した。

DPT 含有ワクチン 1 期初回 1～3 回目は、標準的な接種期間に最も合致する年齢の生年の接種完了率を比較した。平成 25 年度調査以降、使用するワクチンとして DPT-IPV が導入され、平成 28 年度調査にかけて接種完了率は向上の傾向にあった。平成 29 年度調査以降は、1 回目は 100% 付近、2 回目は 90% 付近、3 回目は 80% 付近で推移している(表Ⅲ-3-3)。

表Ⅲ-3-3 DPT 含有ワクチン 1 期初回 1～3 回目の接種完了率の経過

DPT含有 ワクチン 1期初回	①平成27 年度調査	②平成28 年度調査	③平成29 年度調査	④平成30 年度調査	⑤令和元 年度調査	⑥令和2 年度調査	⑦令和3 年度調査	⑧令和4 年度調査	⑨令和5 年度調査	接種完了率 の変化 ⑨-①
	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	令和元年生	令和2年生	令和3年生	令和4年生	
1回目	96.0%	→ 97.8%	→ 97.8%	→ 97.9%	→ 98.3%	→ 99.6%	→ 100.9%	→ 99.9%	→ 99.7%	+ 3.7
2回目	85.9%	→ 89.3%	→ 88.5%	→ 87.8%	→ 88.6%	→ 89.7%	→ 91.7%	→ 90.7%	→ 90.3%	+ 4.4
3回目	74.8%	→ 80.0%	→ 77.6%	→ 77.1%	→ 77.8%	→ 79.0%	→ 81.8%	→ 80.1%	→ 79.4%	+ 4.6
ワクチンの 種類	DPT+ DPT-IPV	DPT+ DPT-IPV	DPT+ DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	

MR 第 1 期について、1 歳になって早い時期に接種した 1～3 月生まれが該当する生年の接種完了率を、平成 27 年度調査から比較した。令和 5 年度調査の接種完了率は 17.2% であり、令和 4 年度調査よりわずかに向上した(表Ⅲ-3-4)。

また、令和 5 年度調査では令和 3 年生が第 1 期対象年齢を迎えている。令和 3 年生の接種完了率は、前年度調査よりわずかに減少したものの、継続して 95% を達成しており高い水準で移行している(表Ⅲ-3-5)。

MR 第 2 期について、令和 5 年度調査では、平成 28 年生が令和 3 年度及び令和 4 年度の接種者数を積み上げることで定期接種対象期間での観察が終了した。令和 5 年度調査における平成 28 年生の接種完了率は 99.7% であり、昨年度調査と同水準であった。平成 27 年度以降、95% 以上の接種完了率を続けて達成している(表Ⅲ-3-6)。

表Ⅲ-3-4 MR 第 1 期接種完了率の経過(1～3 月生まれ)

第1期	①平成27 年度調査	②平成28 年度調査	③平成29 年度調査	④平成30 年度調査	⑤令和元 年度調査	⑥令和2 年度調査	⑦令和3 年度調査	⑧令和4 年度調査	⑨令和5 年度調査	接種完了率 の変化 ⑨-①
	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	令和元年生	令和2年生	令和3年生	令和4年生	
MR	15.2%	→ 15.4%	→ 16.4%	→ 16.0%	→ 16.9%	→ 17.0%	→ 19.3%	→ 16.3%	→ 17.2%	+ 2.0

表Ⅲ-3-5 MR 第 1 期接種完了率の経過

第1期	①平成27 年度調査	②平成28 年度調査	③平成29 年度調査	④平成30 年度調査	⑤令和元 年度調査	⑥令和2 年度調査	⑦令和3 年度調査	⑧令和4 年度調査	⑨令和5 年度調査	接種完了率 の変化 ⑨-①
	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	令和元年生	令和2年生	令和3年生	
MR	95.7%	→ 96.7%	→ 97.2%	→ 98.2%	→ 99.1%	→ 99.3%	→ 101.5%	→ 101.1%	→ 100.0%	+ 4.3

表Ⅲ-3-6 MR 第2期接種完了率の経過

第2期	①平成27年度調査	②平成28年度調査	③平成29年度調査	④平成30年度調査	⑤令和元年度調査	⑥令和2年度調査	⑦令和3年度調査	⑧令和4年度調査	⑨令和5年度調査	接種完了率の変化
	平成20年生	平成21年生	平成22年生	平成23年生	平成24年生	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	⑨-①
MR	97.1%	97.3%	97.2%	97.9%	100.0%	99.9%	101.2%	100.4%	99.7%	+ 2.6

日本脳炎1期初回は、標準接種期間（3歳に達した時から4歳に達するまでの期間）での観察が終了した生年について接種完了率を比較した。令和5年度調査の1回目の接種完了率は93.2%であり、前年度調査の94.0%を下回ったものの、令和2年度調査以降は90%を超える状況が続いている（表Ⅲ-3-7）。2回目の接種完了率は88.8%であり、前年度調査の90.2%と比較して減少した。

日本脳炎1期追加に関しても、標準接種期間（4歳に達した時から5歳に達するまでの期間）での観察が終了した生年について、接種完了率を比較した。令和5年度調査における平成29年生は67.7%であり、前年度調査の56.3%と比較し11.4ポイントと大きく増加した（表Ⅲ-3-8）。令和3年度における1期追加の接種対象者であった平成28年生は、日本脳炎ワクチンの製造の一次停止に伴う出荷量の調整により、1期初回1回目及び2回目の接種を優先することとされており、その結果1期追加の接種完了率が例年と比較して少なくなったことが推測される。なお、平成28年生に関しては、令和4年度接種者数を積み上げた結果、接種完了率は85.4%となっており、前年度調査時点の56.3%と比較して29.1ポイントの大幅な増加となった。令和4年度ではワクチン供給が再開されており、令和3年度において1期追加の接種が出来なかった者などに対し、再度個別通知を行うことなどによる対応がとられた結果、接種完了率が増加したと考えられる（表Ⅲ-3-9）。

表Ⅲ-3-7 日本脳炎1期初回1～2回目接種完了率の経過

日本脳炎1期初回	①平成27年度調査	②平成28年度調査	③平成29年度調査	④平成30年度調査	⑤令和元年度調査	⑥令和2年度調査	⑦令和3年度調査	⑧令和4年度調査	⑨令和5年度調査	接種完了率の変化
	平成22年生	平成23年生	平成24年生	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	⑨-①
1回目	78.6%	83.6%	84.4%	88.0%	88.3%	94.5%	96.2%	94.0%	93.2%	+ 14.6
2回目	74.8%	79.6%	80.1%	82.7%	84.2%	90.3%	92.6%	90.2%	88.8%	+ 14.0

表Ⅲ-3-8 日本脳炎1期追加接種完了率の経過

日本脳炎1期追加	①平成27年度調査	②平成28年度調査	③平成29年度調査	④平成30年度調査	⑤令和元年度調査	⑥令和2年度調査	⑦令和3年度調査	⑧令和4年度調査	⑨令和5年度調査	接種完了率の変化
	平成21年生	平成22年生	平成23年生	平成24年生	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	⑨-①
	57.8%	58.7%	61.0%	61.9%	66.4%	69.9%	73.1%	56.3%	67.7%	+ 9.9

表Ⅲ-3-9 平成28年生における日本脳炎1期追加接種完了率

日本脳炎1期追加	①令和4年度調査	②令和5年度調査	接種完了率の変化
	平成28年生	平成28年生	②-①
	56.3%	85.4%	+ 29.1

水痘ワクチンの定期接種は平成26年10月1日から開始され、今年度調査より9年分のデータでの比較が可能となった。1歳になってすぐに接種した1～3月生を含む生年の接種完了率を比較した結果、前年度調査と比較するとわずかに上昇し、平成27年度調査と比較すると4.6ポイント向上した(表Ⅲ-3-10)。

令和5年度調査において、すべての者が1回目の標準的な接種期間(生後12月から生後36月)に達する生年の接種完了率を比較した。令和5年度調査では、前年度調査と比較して同水準であった。なお、平成28年度調査以前は定期接種開始前が含まれ、任意接種の接種率が考慮されていない。そのため参考値となる(表Ⅲ-3-11)。

表Ⅲ-3-10 水痘ワクチン1回目の接種完了率の経過(早期接種者)

水痘	①平成27年度調査	②平成28年度調査	③平成29年度調査	④平成30年度調査	⑤令和元年度調査	⑥令和2年度調査	⑦令和3年度調査	⑧令和4年度調査	⑨令和5年度調査	接種完了率の変化 ⑨-①
	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	令和元年生	令和2年生	令和3年生	令和4年生	
1回目	11.7%	12.2%	14.9%	14.6%	15.2%	15.7%	18.3%	15.2%	16.3%	+ 4.6

表Ⅲ-3-11 水痘ワクチン接種完了率の経過

水痘	①平成27年度調査	②平成28年度調査	③平成29年度調査	④平成30年度調査	⑤令和元年度調査	⑥令和2年度調査	⑦令和3年度調査	⑧令和4年度調査	⑨令和5年度調査	接種完了率の変化 ⑨-①
	平成24年生	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	令和元年生	令和2年生	
1回目	30.5%	76.1%	97.7%	98.4%	101.2%	101.6%	102.3%	103.6%	103.4%	+ 72.9
2回目	31.3%	68.3%	77.6%	84.2%	89.0%	90.0%	92.5%	94.4%	92.9%	+ 61.6

ウ 標準的な接種期間に最も多く該当する生年の市町村別予防接種完了率一覧

各予防接種の標準的な接種期間に最も多く該当する生年における市町村別接種完了率を表Ⅲ-3-12に示した。

DPT-IPV1 期初回1回目(令和4年生)は84.4%~108.3%、MR第1期(令和3年生)は60.0%~118.7%、第2期(平成28年生)は80.5%~134.9%、日本脳炎1期初回1回目(令和元年生)は61.5%~120.0%、水痘1回目(令和3年生)は60.0%~117.9%に分布した。

表Ⅲ-3-12 推奨年齢における市町村別接種完了率一覧(令和5年度調査)

保健所	市町村名	DPT-IPV 1期初回1回目 令和4年生	MR第1期 令和3年生	MR第2期 平成28年生	日本脳炎 1期初回1回目 令和元年生	水痘 1回目 令和3年生
南部	蕨市	105.7%	105.6%	92.6%	77.4%	105.9%
	戸田市	99.9%	99.3%	82.6%	76.7%	99.0%
朝霞	朝霞市	92.1%	94.3%	90.8%	84.2%	93.6%
	志木市	95.7%	96.9%	88.8%	72.5%	95.1%
	和光市	98.8%	94.9%	85.7%	77.4%	94.1%
	新座市	102.1%	99.0%	100.3%	88.9%	97.4%
	富士見市	100.7%	103.1%	93.9%	80.1%	99.6%
	ふじみ野市	102.6%	102.8%	103.5%	89.5%	100.2%
春日部	春日部市	97.5%	98.3%	96.5%	78.4%	96.1%
	松伏町	105.1%	87.9%	99.0%	61.5%	84.1%
草加	草加市	101.9%	97.7%	94.9%	81.9%	96.7%
	八潮市	96.5%	91.8%	96.7%	76.2%	90.7%
	三郷市	101.1%	101.8%	107.6%	82.1%	99.3%
	吉川市	98.5%	96.5%	93.1%	82.6%	90.8%
鴻巣	鴻巣市	101.2%	98.9%	105.3%	82.2%	98.0%
	上尾市	98.3%	103.1%	103.8%	84.7%	102.0%
	桶川市	95.5%	96.9%	101.0%	74.7%	97.1%
	北本市	98.2%	101.5%	104.9%	77.5%	99.1%
	伊奈町	90.6%	93.5%	93.9%	79.6%	93.5%
東松山	東松山市	102.4%	104.9%	99.5%	85.0%	98.7%
	滑川町	105.0%	110.4%	119.8%	83.4%	109.1%
	嵐山町	98.4%	107.4%	99.1%	81.1%	108.8%
	小川町	100.0%	105.1%	92.6%	79.8%	106.3%
	川島町	98.3%	100.0%	104.0%	86.0%	100.0%
	吉見町	98.0%	98.7%	111.1%	91.5%	98.7%
	ときがわ町	84.4%	93.3%	102.0%	81.1%	96.7%
東秩父村	東秩父村	100.0%	60.0%	109.1%	120.0%	60.0%
	坂戸市	99.6%	99.2%	97.4%	75.3%	98.7%
	鶴ヶ島市	97.3%	103.7%	97.2%	75.9%	103.4%
	毛呂山町	106.3%	108.5%	100.6%	90.0%	101.9%
	越生町	96.4%	95.0%	82.7%	94.6%	87.5%
鳩山町	鳩山町	90.0%	102.0%	134.9%	102.4%	102.0%
	所沢市	100.1%	97.7%	97.4%	86.5%	97.6%
	飯能市	94.7%	104.2%	112.7%	84.1%	101.1%
	狭山市	99.1%	98.4%	95.6%	92.8%	97.3%
入間市	入間市	97.8%	97.6%	101.6%	77.8%	96.5%
	日高市	95.0%	96.5%	101.9%	87.6%	93.1%
	行田市	95.3%	96.9%	97.3%	80.9%	95.5%
	加須市	104.0%	106.2%	112.7%	93.1%	106.1%
羽生市	羽生市	104.8%	118.7%	102.1%	83.2%	117.9%
	久喜市	99.6%	100.4%	105.6%	72.1%	98.6%
	蓮田市	98.6%	92.2%	104.1%	78.0%	91.9%
	幸手市	99.4%	104.5%	99.6%	84.4%	102.8%
白岡市	白岡市	99.4%	101.6%	103.4%	77.2%	101.4%
	宮代町	94.4%	95.4%	115.7%	81.4%	95.9%
	杉戸町	101.1%	109.8%	107.2%	100.5%	109.8%
	熊谷市	101.9%	102.3%	97.6%	78.6%	101.7%
深谷市	深谷市	100.1%	98.8%	99.8%	78.0%	99.1%
	寄居町	98.7%	94.6%	91.5%	80.5%	90.7%
	本庄市	95.9%	98.5%	101.4%	71.9%	97.8%
美里町	美里町	98.3%	95.7%	100.0%	64.7%	93.6%
	神川町	102.4%	104.3%	80.9%	73.8%	104.3%
	上里町	100.0%	100.0%	112.8%	73.8%	100.0%
	秩父市	96.2%	97.6%	94.9%	78.0%	97.9%
横瀬町	横瀬町	86.8%	89.4%	83.9%	89.6%	89.4%
	皆野町	100.0%	94.3%	98.1%	82.9%	91.4%
	長瀬町	108.3%	96.6%	93.8%	115.4%	96.6%
	小鹿野町	95.8%	88.5%	80.5%	88.2%	88.5%
さいたま市	さいたま市	99.1%	100.8%	106.6%	76.4%	99.8%
川越市	川越市	100.6%	97.6%	99.0%	74.7%	96.5%
越谷市	越谷市	97.7%	95.6%	95.5%	73.9%	94.9%
川口市	川口市	105.8%	106.1%	95.9%	85.3%	106.1%
埼玉県		99.7%	100.0%	99.7%	80.0%	98.9%

(5) 令和4・5年度定期外予防接種実施状況

令和4・5年度定期外予防接種を比較すると、令和4年度に何らかの定期外予防接種を実施していたのは53市町村(実施なし:10市町村)であったのに対し、令和4年度に計画しているのは54市町村(計画なし:9市町村)で、1市町村増加した(表Ⅲ-3-13)。

表Ⅲ-3-13 令和4・5年度定期外予防接種の比較

予防接種項目	令和4年度		令和5年度		内訳(その他)**	令和	令和
	実施数	実施率	計画数	計画率		4年度	5年度
						実施数	計画数
BCG	2	3.2%	2	3.2%	HPV(子宮頸がん)	10	11
小児インフルエンザ	25	39.7%	23	36.5%	带状疱疹	5	13
肺炎球菌(高齢者)	19	30.2%	19	30.2%	造血幹細胞移植後の再接種等	9	10
水痘	2	3.2%	2	3.2%	定期期間内で受けられなかった予防接種	2	2
流行性耳下腺炎	11	17.5%	12	19.0%	日本脳炎	1	0
麻しん単抗原	2	3.2%	2	3.2%	不活化ポリオワクチン(IPV)	1	1
風しん単抗原	31	49.2%	30	47.6%	B型肝炎	1	1
MR	32	50.8%	31	49.2%	その他特別な理由による接種	2	2
その他*	23	36.5%	26	41.3%			

**複数の回答を行った市町村については、各予防接種で計上

*「定期期間内で受けられなかった予防接種」及び「骨髄移植等に対する人への再接種」とした市町村を含む